

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	基礎柔道整復学2	講義	4	80	柔道整復学理論編 解剖学1.2
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
1年	太田 直樹	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
脱臼総論、軟部組織損傷総論、脱臼の整復法、筋の復習(上肢)					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>【助言】 運動器(特に骨・筋)の解剖学の知識が必要となってきます。基本的な骨の名称、部位名などは覚えるようにしましょう。</p> <p>【学習支援】 原則、毎授業小テストを行います。範囲は前回(1回前)の授業分で行い、80点以上を合格点とします。合格するまで再試験を何度でも受けられます。(毎日でも構いません) ただし、指定した期日までに合格できなかった場合、2回行われる定期試験の配点の内、各試験毎に、不合格分の小テスト1回につき10点ずつ引かれますので、必ず期日までに合格して下さい。</p>					
教科書・参考書					
教科書:全国柔道整復学校協会「柔道整復理論編」・「解剖学」・「運動学」 「カラーアトラス」					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】*詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基礎医学教科である解剖学・生理学の知識が必要となる為、関係科目を事前に復習しておく。 ●プリント等の配布物の管理を的確に行う。(紛失による再配布はしない。) ●小テストを実施を欠席した場合、原則として評価なしとする。 					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	定期試験			
その他		小テストを行い、結果で期日までに不合格がある場合は、各定期試験毎に、小テストの不合格分1回につき10点ずつ引く。(ただし再試験は期日までは何度でも受け付ける)			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1	4/6	インフォメーション 関節の構造について		/	太田
2	4/13	関節構成組織 (関節軟骨・関節包・滑液・靭帯・関節 円板・滑液包・関節唇)		/	太田
3	4/20	関節構成組織 (関節軟骨・関節包・滑液・靭帯・関節 円板・滑液包・関節唇)		/	太田
4	4/27	関節構成組織の損傷 (関節軟骨・関節包・滑液・靭帯・関節 円板・滑液包・関節唇)		/	太田
5	5/11	筋組織の構造		/	太田
6	5/18	筋の補助装置 (筋膜・筋支帯・滑液包・筋滑車・腱弓・ 種子骨)		/	太田
7	5/25	筋の損傷に加わる力と分類		/	太田
8	6/1	筋の損傷と治癒機序 腱の構造と機能		/	太田
9	6/8	腱の補助装置 腱の損傷と分類		/	太田
10	6/15	末梢神経の分類と構造		/	太田

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11	6/22	末梢神経の損傷に加わる力		/	太田
12	6/29	末梢神経の損傷		/	太田
13	7/6	軟部組織の損傷 まとめ		/	太田
14	7/13	骨格筋(全身の筋) 関節の動き		/	太田
15	7/20	損傷を起こす筋構造の理解 頭部の筋		/	太田
16	7/27	損傷を起こす筋構造の理解 頸部の筋		/	太田
17	8/3	損傷を起こす筋構造の理解 胸部の筋		/	太田
18	9/7	損傷を起こす筋構造の理解 まとめ		/	太田
前期試験					
19	9/21	損傷を起こす筋構造の理解 胸部の筋		/	太田
20	9/28	損傷を起こす筋構造の理解 呼吸運動		/	太田

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21	10/5	損傷を起こす筋構造の理解 腹部の筋		/	太田
22	10/12	損傷を起こす筋構造の理解 背部の筋		/	太田
23	10/19	損傷を起こす筋構造の理解 背部の筋		/	太田
24	10/26	損傷を起こす筋構造の理解 上肢の筋(上肢帯)		/	太田
25	11/2	損傷を起こす筋構造の理解 上肢の筋(上肢帯)		/	太田
26	11/9	損傷を起こす筋構造の理解 上肢の筋(上腕)		/	太田
27	11/16	損傷を起こす筋構造の理解 上肢の筋(上腕)		/	太田
28	11/30	損傷を起こす筋構造の理解 上肢の筋(前腕)		/	太田
29	12/7	損傷を起こす筋構造の理解 上肢の筋(前腕)		/	太田
30	12/14	損傷を起こす筋構造の理解 上肢の筋(前腕)		/	太田

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
31	12/21	損傷を起こす筋構造の理解 上肢の筋(手)		/	太田
32	1/11	損傷を起こす筋構造の理解 上肢の筋(手)		/	太田
33	1/18	損傷を起こす筋構造の理解 まとめ		/	太田
34	1/25	脱臼の定義と概説 発生頻度 脱臼の分類		/	太田
35	2/1	脱臼の分類		/	太田
36	2/8	後期試験		/	太田
37	2/15	脱臼の症状 合併症 整復障害		/	太田
38	2/22	脱臼の整復法 軟部組織損傷の初期処置		/	太田
39	3/1	脱臼の整復法 軟部組織損傷の初期処置		/	太田
40	3/8	脱臼の総論 まとめ		/	太田